

資料2

平成28年度

鶴見区運営方針
実績・評価

鶴見区役所

地域コミュニティ・保健福祉部会

- 所管する経営課題

経営課題2 地域コミュニティの活性化

経営課題5 健康で安心して暮らせるまち

経営課題2

地域コミュニティの活性化



2 - 1 地域全体で支え合うコミュニティづくり

【めざす状態】

- 幅広い人たちが参加しやすい魅力ある地域活動が行われ、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域コミュニティをめざす。

【戦略】

- 自律的な地域運営や地域活動の活性化に向けた支援を行う。
- 地域活動への関心が低い人たちや地域活動に関わりの薄かった人が地域活動へ参加しやすい環境づくりに向けた支援を行う。
- 多様な分野における市民活動について、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図る。

地域活動の活性化と自律的な地域運営の支援



計画

- 各地域に担当職員を複数名配置し、自律した地域運営に向けた支援を中間支援組織と連携して行う。
- 地域活動に関するさまざまな情報を収集・把握するとともに、広く区民や地域活動団体にPRする。
- 人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図り、地域の自主財源確保に向けた支援を行う。

目標

「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合60%以上

実績

- ・会計の透明性に向けた勉強会
- ・地域活動団体に交付した公金の使途を区HPで公表
- ・各地域への広報活動に助言・指導
- ・地域活動や地域の魅力などの情報発信



地域活動協議会
情報コーナー



大人の社会見学 &
miniつるばた会議

5回開催 参加者251人



鶴見区地域活動協議会
広報誌集

年3回発行 発行部数500部/回



つるばた会議10

3月12日開催 参加者20人

評価

「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合

目標

60%
以上

結果

68.5%

- ・地域活動の担い手の確保や地域活動への参加促進。
- ・地域活動等に参加するきっかけづくりなど、地域住民が参加しやすい環境づくりや団体間の連携・協力を促進。
- ・地域住民の地域や地域活動への関心を高めるため、積極的な情報発信。

29年度の 取組み

- ・地域活動や地域の魅力などさまざまな情報を収集・把握し、広く区民や地域活動団体に情報発信を行う。
- ・各地域活動協議会において紙媒体だけでなく、電子媒体(HP・フェイスブック)を活用した情報発信が行えるよう広報の支援を行う。

【経営課題全体としての評価総括(自己評価)】

- 地域活動協議会の取組等地域活動への理解については、地域活動の活性化と自律的な地域運営を支援を実施することにより、「地域活動への理解が進んだ」と感じている区民の割合は前年度に比べ1.1%上昇(区民アンケート結果)していることから、順調に進んでいると考えられる。
- 地域活動協議会の認知度については、43.7%(区民アンケート結果)と前年度(33.3%)より大きく上昇している。引き続き、電子媒体の活用を支援するなど地域のさまざまな活動を幅広い世代へ積極的に情報発信を行うとともに、新たな担い手の確保や地域活動への参加促進につながる取組みを行う。

